Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

1．適用範囲

本書は、DF59 シリーズ圧着プラグ端子をケーブル(AWG22)に圧着して、圧着プラグケースに端子を挿入するまでの手順について規定するものです。

2．コネクタ品名

品　　名	一般名称
DF59-22PC(F)A(##)	圧着プラグ端子
DF59-＊P-2C(##)	圧着プラグケース

＊=極数、(##)=仕様番号

3．ハーネス手順

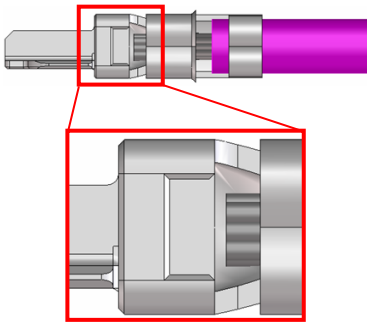
3.1. ケーブルストリップ

圧着品質基準書（ATAD-H0504）に基づき、ケーブルのストリップを行う。
その際、ケーブル芯線への傷の有無及び、ストリップ長が規格内であるか確認を行う。

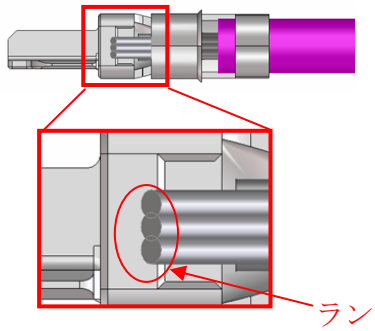
3.2. 圧着工程

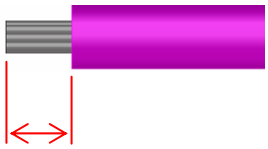
アプリケーター（AP105-DF11-22S, AP105-DF59-22P）又はハンドツール（HT801/DF59-22P）を用いて圧着を行い、圧着条件表、圧着品質基準書（ATAD-H0504）に基づき、圧着ハイト、圧着形状を確認する。
ケーブル芯線のストリップ長が規格値を超えた場合、圧着時に圧着プラグ端子のランス掛かり部と干渉する可能性が有ります。また、ベルマウス形状が規格以上に大きくなることで、圧着プラグケースへの挿入性が悪くなる可能性が有りますので圧着品質基準書(ATAD-H0504)に記載の規格値をご参照の上、管理をお願いします。

ストリップ長：規格内

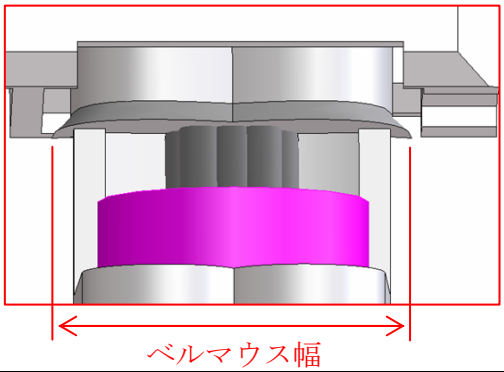


ストリップ長：規格外

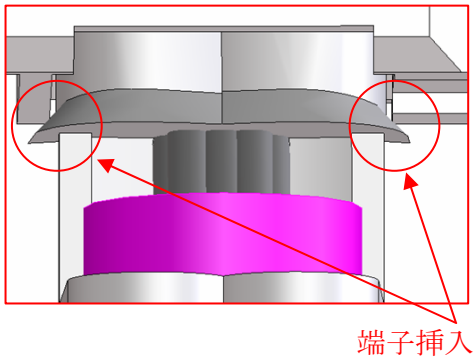




ベルマウス幅：規格内



ベルマウス幅：規格外



	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
1	6	DIS-H-00001933	TS. KUMAZAWA	TS. FUKUSHIMA	16. 08. 02

名　称　TITLE

DF59 シリーズハーネス手順書

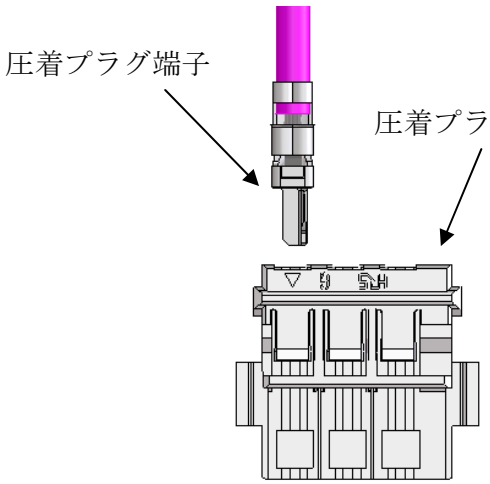
HIROSE ELECTRIC CO., LTD.

APPROVED	KI. AKIYAMA	10. 12. 25
CHECKED	OM. MIYAMOTO	10. 12. 25
DESIGNED	KT. ISHII	10. 12. 24
WRITTEN	KT. ISHII	10. 12. 24

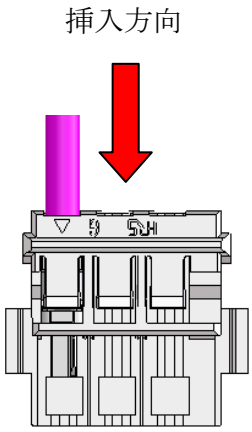
3.3. 圧着プラグケース挿入

圧着された端子のケーブルを持って、圧着プラグケースの各端子穴に挿入する。
（下図の矢印方向に端子を挿入する。）

端子挿入前



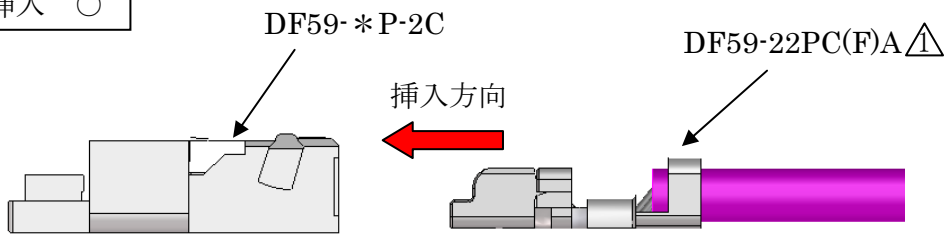
端子挿入後



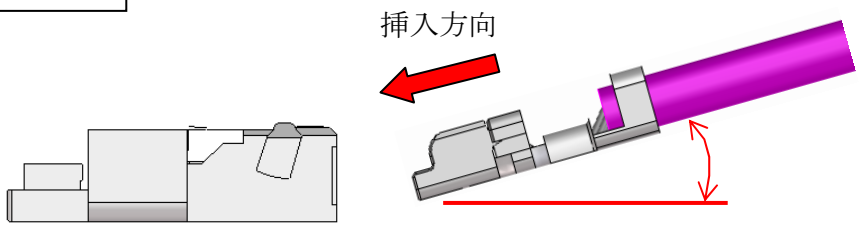
⚠1

・性能信頼性を維持するため、圧着プラグ端子(DF59-22PC(F)A)を斜めに挿入しないで下さい。

水平挿入　○

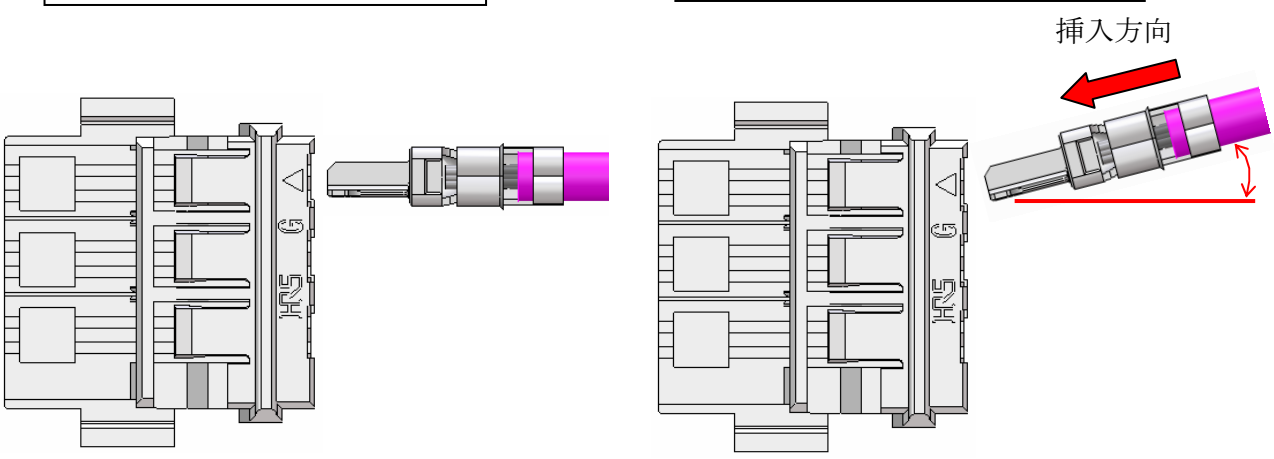


斜め挿入　×



水平挿入(製品ピッチ方向)　○

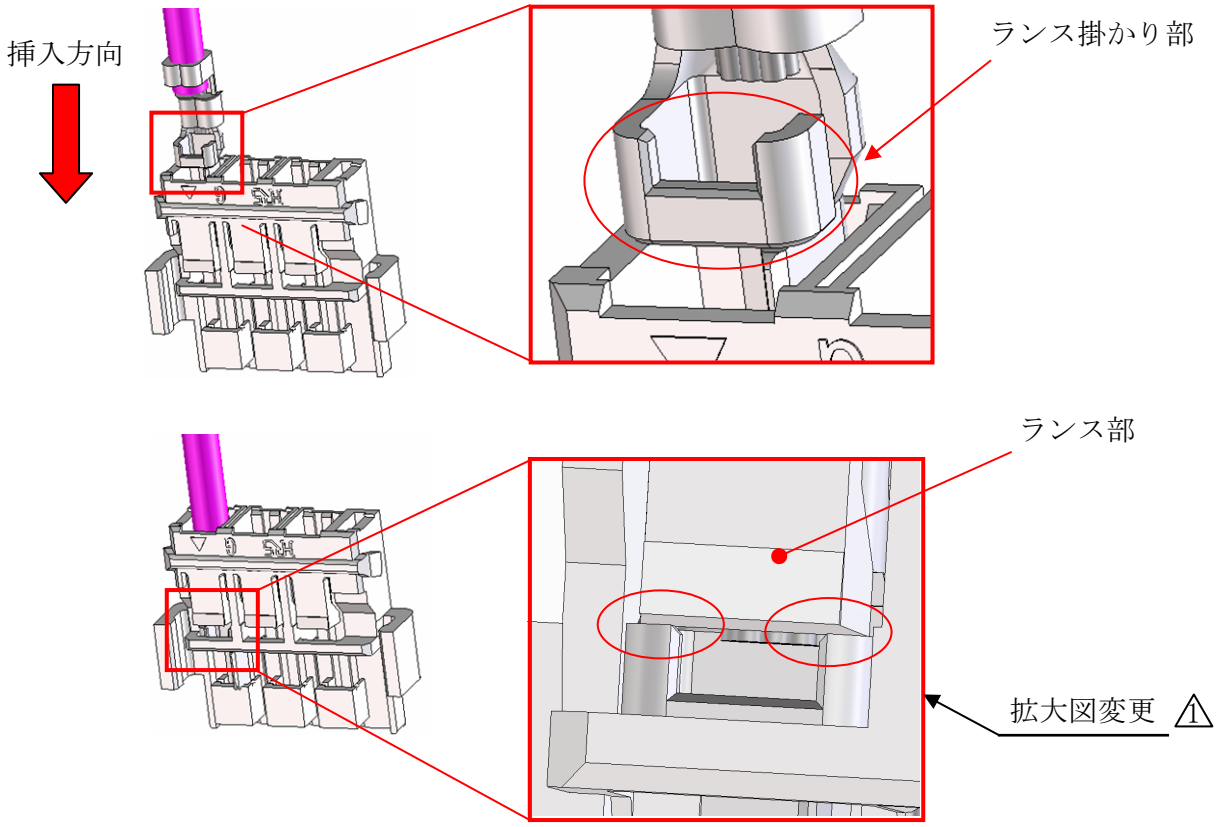
斜め挿入(製品ピッチ方向)　×



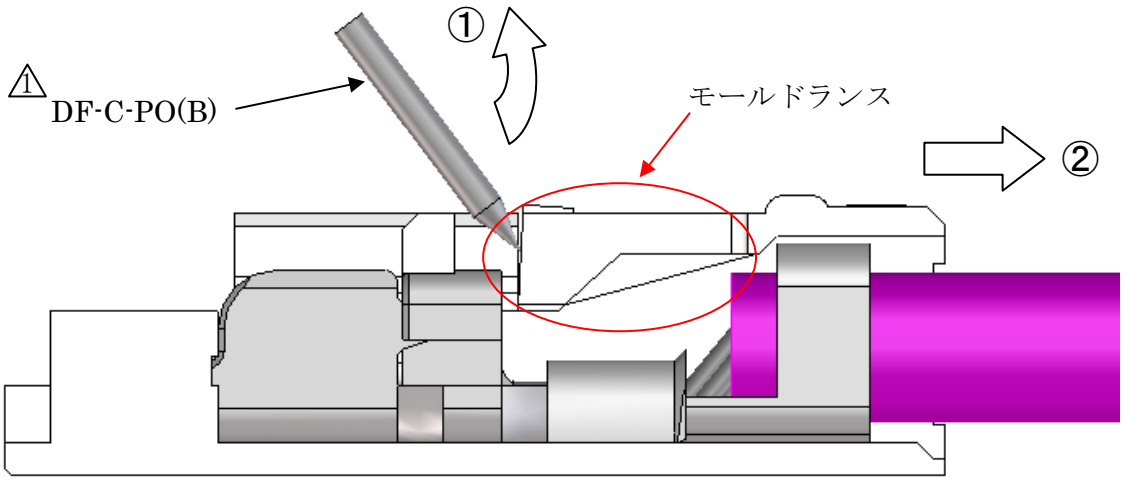
Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

端子挿入
状態確認

圧着プラグ端子のランス掛り部が圧着プラグケースのランスに掛っていることを確認する。



※圧着プラグ端子のリペアについて
一度挿入した圧着プラグ端子を抜く時は、DF-C-PO(B)、又は先の尖った針などを使い
モールドランスを持ち上げながらケーブルを引っ張って引き抜いて下さい。
リペアを行ったことでランス強度が低下している可能性があります。リペアを行った
圧着プラグケースは再利用せずに新しい圧着プラグケースをご使用下さい。



Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.